

平成25年度活動報告



特定非営利活動法人
日本・イラク医学協会

イラク国保健省に対する派遣事業 ～研修会の開催～

平成25年6月22日から27日にかけて、ヨルダン・ハシメット王国 アンマンにて、イラク国保健省所属エンジニア26名に対する契約管理研修の支援として、当協会は日本から講師を派遣し、修了証を発行しました。

講師は、当協会の団体正会員アイテック株式会社のバグダッド事務所社員の他、一般社団法人海外建設協会からご推薦頂いた建設契約専門のコンサルタント(海藤勝博士)、及び大成建設株式会社のプロジェクト管理専門技術者(荒木康隆課長)にご臨場いただきました。

今回の研修では、建設プロジェクトの契約管理をテーマとして、FIDIC約款を中心とした講義を実施しました。研修生は、プロジェクト管理における各種契約約款の違いと、契約方式の選定の重要性について学びました。講義では、プロジェクトで実際に起こり得る問題を例にケーススタディを行い、研修生はグループディスカッションにて熱心に討議していました。最終日には修了式を行い、修了証を全研修生に授与しました。



修了式

イラク国保健省高官の招聘事業 ～レセプションの開催～

平成25年7月2日から5日にかけて、イラク国保健省から、Mr. Dhafer Mahmood Khalaf(プロジェクト&エンジニアリングサービス局長)ならびにMr. Ali Dubakh Hassan(同省 副大臣室技官)の二名が来日しました。両名は一般財団法人中東協力センターの招聘により来日しました。

来日の目的は、日本イラク医療合同協議会の第二回目となる、「第二回日本イラクヘルスケア合同協議会」に参加するため、平成24年9月に開催された第一回協議会では、当協会はミッション団にメンバーをバグダッドへ派遣しました。今回も、当協会は同協議会ならびにレセプションを共催し、多くの理事・会員にご参加を頂きながら、日本イラク医療協力セクターに関する意見交換を行いました。レセプションでは、山本会長から歓迎のご挨拶を述べ、益々のイラクと日本の医療交流、協力につき当協会の意気込みを伝えるとともに、イラク側からも更なる協力に対する感謝と期待が述べられました。



第二回日本イラクヘルスケア
合同協議会全景



経済産業省とイラク国保健省
による議事録のサインングセレモニー



山本会長による挨拶



イラク国保健省Mr. Dhafer局長
による挨拶

イラク国保健省所属エンジニアの招聘事業 ～研修会の開催～

当協会の団体正会員アイテック株式会社の招聘により、イラク国保健省所属エンジニア5名の研修が東京で行われました。この機会に当協会は、平成26年3月13日に研修会及びレセプションを開催しました。

この研究会では、当協会が依頼した講師3名により、イラクへの医療協力、病院の建設計画及び先進的な病院事例をテーマとして、新病院の基本構想にまつわる講義を実施しました。講師と研修生の間で活発な議論が行われ、ディスカッションを通じて熱心に議論していました。

研修会の後は、当協会の山本会長が院長を務める東京臨海病院への病院見学を行い、夕方からレセプションを開催しました。



研修会の様子



東京臨海病院の病院見学



(中央:山本会長、馬杉理事)